

## 自然再生事業箇所等(湿地)の現地視察のご案内

生物多様性研究分科会では、湿原をテーマとした現地視察を計画しました。

湿原とは「過湿・貧栄養の地に発達する自然草原」であり、**尾瀬ヶ原**が有名ですが、中国地方にも小規模ながら同様の湿原が点在します。

視察箇所は、飯南町の「赤名湿性地植物群落」と、広島県北広島町の「八幡湿地」です。両方も、地元を中心とした自然保護の取り組みがなされており、八幡湿地では、自然再生事業が行われています（詳細は別紙参照）。

この2つの湿原での活動は、自然を活かしながら地域を活性化するためのヒントがあると思います。それに皆様の経験や発想力で、新たな提案に結びつけてみませんか。

また、秋の気持ちよい天気の下、地元のガイドによる案内により湿原や周辺の里山を歩き、秋の自然を満喫するとともに、島根の自然環境の保全に向けた何かを感じてみませんか。

2日連続の企画ですが、**日帰りを基本**としています。いずれか、**ご都合のよい日だけの参加**も歓迎です。特に、県西部の方、八幡湿原は浜田市から近いので参加をお待ちしております。

### 【スケジュール】

日程	スケジュール	備考
H25. 10. 13 (日)	・ 08:30~11:00 松江市→浜田市	※浜田市で一旦集合します。
	・ 11:00~12:30 浜田市→北広島町（高原の館）	※昼食は高原の館を予定。
	・ 12:30~14:00 高原の館（昼食&見学）	※地元ガイドによる案内付。
	・ 14:00~16:30 八幡湿地の視察 ・ 16:30~ 解散 ※人数がそろえば、飯南町で宿泊	※湿原、周辺の自然、自然再生事業についてお話しを聞くことができます。
H25. 10. 14 (月・祝)	・ 09:30 赤名湿地集合 ※集合場所が不安な方、途中での待ち合わせも可能です。	※地元の人が整備する里山の遠路も歩きます。 ※午後は希望者のみ。飯南町の他のエリアを視察します。
	・ 09:30~12:00 赤名湿性地植物群落等の視察	
	・ 12:00~13:30 昼食（飯南町内）	
	・ 13:30~16:00 視察（希望者）	

※悪天候の場合は順延。予備日は、10/19、10/20を予定。

※2日連続参加される方が複数おられ、宿泊先が確保できる場合は、宿泊の検討も考えています（現状では、災害等で宿泊先の確保が難しいと考えられます）。

※集合場所が不安な方、途中合流したい方、視察の詳細な内容を知りたい方など、ご質問・ご要望のある方は、幹事まで連絡ください。

※参加希望の方は、10/10（木）までに幹事まで連絡をいただければと思います。

■連絡先 生物多様性研究分科会 幹事 大嶋 辰也

(090-6849-3152、[t-oshima@wesco.co.jp](mailto:t-oshima@wesco.co.jp)、)

## 1.八幡湿原



〔魅力〕

- ・八幡湿原は、日本の湿原の分布における南限地帯にあります。湿地環境を代表する「ヌマガヤーマアザミ群集」が発見・命名され、一躍世界にその名が知られた学術的にも大変価値の高い湿原です。
- ・八幡湿原の保護活動は、地元中心で取り組まれています。広島大学のバックアップを受け、学術的な知見に基づいた取り組みがなされています。
- ・自然再生法に基づく活動が、地元の湿地保存会を中心として行われています。島根県では「中海自然再生協議会」がありますが、県内の事例の参考にもなります。

## 2.赤名湿性地植物群落

〔場所〕 国道 54 号から、赤城中学校横の道を通って行きます。



〔今回の視察〕

- ・昨年度の研究活動で“冬”に視察した場所です。今年は、よい時期に再チャレンジします。
- ・地元の方が整備した遊歩道を歩きます。遊歩道の新たな魅力発見などに挑戦してみませんか。 地元の方が整備した遊歩道の看板→



- ・八幡湿原の自然再生事業の取り組みを踏まえて、飯南町での新たな取り組みを提案できないか。

※夏季の写真

